

オリンピック・パラリンピックの観戦のための事前学習

○対象： 高校生

○本時のねらい： オリンピック・パラリンピックの意義を理解し、観戦する競技のルールや注目選手について調べ、観戦のための知識を身に着ける。

○準備物： インターネットに接続できるタブレットまたはPC、ワークシート

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (10分)	1) オリンピック・パラリンピックの意義や価値について学ぶ 【発問】オリンピックやパラリンピックはどんな大会でしょうか。 【説明】大会の意義や価値、競技日程や種目、会場などについて説明する。	オリンピックやパラリンピックは、世界各国から選手が集まって世界一を競う大会であること、いろいろな競技が行われていること。また、それぞれ固有の価値を持っていることを伝える。	東京 2020 大会公式ウェブサイト 「 オリンピック競技大会 」、「 パラリンピックとは 」 東京 2020 教育プログラムウェブサイト 「 オリンピックとは 」 「 パラリンピックとは 」
展開 (10分)	2) 観戦する競技についてインターネットや資料を使って、グループ内で分担して調べ学習を行う。 【演習①】観戦する競技の歴史や背景、ルールなどの特徴について調べてみよう。また、観戦のマナーについても調べてみよう。	ペアや小グループを活用して分担したり調べた情報を共有させたりする。 観戦する競技の歴史や背景、ルールなどの特徴について調べ、ワークシートに記入させる。	東京 2020 大会公式ウェブサイト 「 オリンピック競技一覧 」 「 パラリンピック競技一覧 」 東京都オリンピック・パラリンピック準備局ウェブサイト 「 競技図解一覧 」
(10分)	【演習②】観戦する試合の参加チームや参加選手について調べてみよう。どんな選手のどんなところに注目すればいいでしょうか。 (時間に余裕があれば) 観戦する試合の参加国の応援のことばやコールを調べてみよう。	観戦する試合についてその参加選手を調べワークシートに記入させる。 競技全体の注目選手や見どころを調べ、ワークシートに記入させる。	
(10分)	【演習③】今回観戦する競技場はどのような施設だろう。その特徴について調べてみよう。	競技場の情報についても調べさせる。	
まとめ (10分)	【共有】グループで調べた内容をみんなに伝えよう。 観戦する競技についてさらに知りたいことがあれば、当日までに調べてみよう。	学習した内容をまとめる。 観戦までに、さらにその競技に対する興味を高められるように指導する。	

オリンピック・パラリンピックの観戦のための事後学習

○対象： 中学生、高校生

○本時のねらい：オリンピック・パラリンピックの競技を観戦した経験を振り返って、体験から得たことを共有するとともに、その意義を考え今後の生活に生かせるようにする。

○準備物： ワークシート、模造紙（大型付箋）、ペン

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (20分)	1) 観戦を振り返る 観戦を振り返って、当日のワークシートに記入したことをお互いに共有してみよう。	本時は観戦の体験を振り返り、体験から得たことを共有することを伝える。観戦した内容に応じて、オリンピックの価値（卓越、友情、敬意・尊重）や、パラリンピックの価値（勇気、強い意志、インスピレーション、公平）に着目させる。	観戦当日のワークシート
	2) クラスで体験を共有する グループでた意見を黒板に掲示して発表する。	ワークシートの項目に沿ってペア（小グループ）で、内容を共有する。	模造紙、大型付箋など
展開 (15分)	3) ワークシートを使って、今回の観戦で新たに気付いたことやこれまでの考えが変わったことについて考えてみよう。 まず各自がワークシートに記入し、そのあとペアで共有してみよう。	まず個人でワークシートに記入させる。 ペアで個人の考えをもとに話合わせる。 会話が弾まないようなら、観戦の経験から事例を挙げて取り組ませる。	ワークシート
(10分)	4) 今回気づいたことや役立ちそうなことを、日ごろの生活に役立てるにはどうすればいいだろうか。学校生活や社会のどんな場面で役立てることができるか考えてみよう。	小グループを作り、各ペアの考えを紹介しながら、今後の生活に役立てるために、どんな場面でどうやって役立てられるか考えさせる。	学年やクラスにあった今後の行事などの予定
まとめ (5分)	同じ競技を観戦しても、気づくことは人によって違う。今回の観戦で気づいたことを今後の生活に生かすとともに、どのように世の中に役立てられるかも考えていこう。	観戦の体験から得たことを今後の生活に役立てられるよう、具体的な行事や取り組みを例に示して、まとめを行う。	